

「SDGs AICHI EXPO ~ SDGs子ども・ユースフェア～」に出展

日 時	令和7年10月3日(金)・4日(土) 10:00～17:00
場 所	愛知県国際展示場(AICHI SKY EXPO)
来場者	5,618名(3日(金) 2,597名/4日(土) 3,021名)

SDGs AICHI EXPO 実行委員会(会長 大村秀章 愛知県知事)は、令和7年10月3日(金)から4日(土)の2日間、愛知県常滑市にある愛知県国際展示場(AICHI SKY EXPO)で日本最大級のSDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO ~ SDGs子ども・ユースフェア～」を開催しました。

2020年から開催されている「SDGs AICHI EXPO」ですが、今年は次世代の担い手である子どもやユース世代が、参加・体験を通して楽しみながら学び、さらにグローバルな視野を持ちながら地域性を考慮して行動できる人づくりに貢献するイベントを目指して、「子ども・ユース世代の力で進めよう」をテーマに開催されました。



開会あいさつをされる大村秀章愛知県知事

「『SDGs AICHI EXPO』は、世界に発信できるSDGsリーディングモデルとなるイベントを目指しています」を開催ポリシーとして掲げ、具体的には次の6つの取り組みをあげています。

1. 子ども・ユース世代の関心を喚起し、行動変容を促進する取組～楽しみながら学ぶ～
2. グローバル化する環境問題への意識向上～アジア・アジアパラ競技大会を契機とした視点～
3. 大量廃棄からの脱却
4. 大量消費からの脱却
5. 各主体のネットワーク構築～パートナーシップで目標を達成しよう～
6. PDCAに基づいたイベント運営～持続可能な運営の確立に向けて～

ブース出展ゾーンは「企業エリア」、「ユースエリア」、「自治体エリア」、「NPOエリア」、「交流エリア」で構成され、企業30団体、大学・学校37団体、NPOなど30団体、自治体など55団体の計152団体が参加しました。また、今年からSDGsを楽しく学べるワークショップも開催され、当協会の会員企業はプラスチックとレジンを使用したアクセサリーのクラフトブースを出し、大変盛況でした。

当協会としては、「NPOエリア」にブース出展を行い、当協会の活動をSDGsの17のゴールに関連付け、パネルで紹介しました。パネルでは、当協会の事業概要や県内すべての市町村(計54市町村)と災害協定を結んでいること、当協会の会員が東日本大震災や平成30年の岡山県豪雨、令和元年の長野県千曲市の豪雨、令和6年の豊川市の豪雨の際に災害廃棄物の処理の支援を行ったこと、豊明市などと災害廃棄物仮置場設置訓練を行っていることなどを紹介し、来場者の方々にこれらの内容に関連したクイズに回答していただきました。

全問正解者には、ヒノキなどで作られた工作キットを抽選でプレゼントしました。プレゼントを手に入れたい参加者が列を作り、クイズに挑戦してくれました。クイズの欄外に協会活動についての意見を記入いただいたところ、「初めて知ったことが多く面白かった。」、「豊明市での災害廃棄物仮置場運営訓練のパネルを見た豊明市市民です。お世話になっています。」、「素晴らしい活動をしていることが分かりました。」、「色々な良いことをしていることが分かった。」、「災害廃棄物処理は生活の復旧に不可欠な大切な活動だと感じました。」、「3Rを意識したいと思います。」、「素晴らしい活動だと思います!災害協定を初めて知りました。」など多くのご意見をいただきましたとともに、協会の活動をご理解いただきました。

会場への来場者は10月3日(金)2,597名、4日(土)3,021名の計5,618名、協会ブースにお越しいただいた来場者は、10月3日(金)94名、4日(土)171名の計265名でした。



クイズの答えを求める展示パネルを見る来場者